

# きちんと学べば楽しい・簡単・役に立つ 小学生向けプログラミング講座スタート!

(有)佐賀情報ビジネス(代表取締役 江島光代)は、小学校でプログラミング教育が必修化される4月から、佐賀大学理工学部の掛下哲郎准教授の協力を得て小学校5〜6年生向けのプログラミング講座を開始します。詳しいお話を江島社長と掛下准教授に伺いました。



掛下准教授と江島社長

## ◆プログラミング教育は子供たちの未来を開拓するため

情報化社会の本格的な展開を迎え、コンピュータは家庭だけでなく、商店、交通機関、学校、病院、様々な産業など社会の至る所で重要な役割を果たしています。小学校でのプログラミング教育は、コンピュータの基礎的・基本的な操作を学びながら子供たちがプログラミングを体験し、それを通して論理的に思考

する力を育てるためのものです。

「2014年のイングリッドを皮切りに、米国や豪州等でも小学生を対象とするプログラミング教育が始まっており、日本も世界レベルに追いつきつつある」と掛下准教授。地元のIT研修会社として、佐賀の未来にも貢献したい」と江島社長は語ります。

## ◆プログラミング講座は1.5時間×6回。小学校5〜6年生対象

(有)佐賀情報ビジネスのプログラミング講座は、中学校でのプログラミング教育との接続を考慮して学習を効果的に進めるため、5〜6年生を対象に開催されます。内容は掛下准教授がこれまで実践してきた講座を強化したもので、オンライン教材Code Studioが提供するプログラミング課題に取り組みながら、小学校レベルのプログラミングを9時間で無理なく学べるそうです。



▲Code Studioで作成したプログラム例

## ◆生徒や保護者にも好評

昨年9月には、佐賀大学教育学部附属中学校の生徒を対象としたプログラミング講座が行われました。

生徒からは、「時間を忘れるほど楽しかった」、「頭をたくさん使って、とてもいい機会になりました」、「難しい印象があったが、意外と簡単にプログラミングの概念が変わった」、「先生の話が分かりやすかった」、「IT

技術者のすごさを改めて感じた」といった感想が多数届いたとのこと。

また、講座を参観した保護者からは、「生徒が真剣にプログラミングに取り組んでいて良かった」、「先生が丁寧に授業されていて、プログラミングがとても楽しそうだった」、「コンピュータは、本当にアイデア次第で可能性は無限だと実感した」といった感想が寄せられたそうです。

小学校でのプログラミング教育の必修化に伴い、佐賀の将来を展望した取り組みとして、注目が集まりそうです。

取材／江頭 正敏



▲掛下准教授が実施したプログラミング講座には生徒33名と先生1名が参加した

お問合せ

有限会社 佐賀情報ビジネス

佐賀市鍋島町大字森田903番地

Tel. 0952-34-4150

Fax. 0952-34-4195

<https://www.sib-net.co.jp/>

詳細情報・受講申込▶



▶Code Studioを用いてプログラムを作成中

